

事業所名

放課後等デイサービスあるふぁ、あるふぁ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3月

7 目

法人（事業所）理念		学校を卒業した後、少しでも自分の力で過ごせることが必要であると感じている。 そのために、生きる上で必要な知識・技術等を身に付け、主体的に生活できるような支援を提供する。								
支援方針		・放課後、家に帰ったような環境で過ごせる場を提供し、その中で支援を行う。 ・自立に向けて、出来ることを少しずつ増やしていけるようにする。 ・作った支援ではなく、実生活に活かせる支援となるよう、組み立て方に配慮する。								
営業時間		平日	10	時	0 分から	18	時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		祝日	9			17				
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・身辺自立(トイレ、手洗い、着替え、食事、整頓等)に向けた支援の実施。 ・自身の薬について(管理、使用方法等) ・身だしなみについて								
	運動・感覚	・体幹運動・体操・ダンス・ムーブメント・器械体操・球技等、身体を大きく動かす活動。 ・作業や指先訓練などの座って行う活動。 →少人数に分かれての実施。								
	認知・行動	・時間軸の理解に繋がるような支援の実施。(時計の理解、時間を見て行動する、流れに沿って行動する等) ・声掛けでの行動ではなく、自分で考えて行動する、選ぶ場面を増やしていく。								
	言語 コミュニケーション	・文字の学習(平仮名、カタカナ、数字、文章の学習等) ・対人のコミュニケーション方法(言葉遣い、声のかけ方、相手を意識したやり取り等) ・場面に合わせた挨拶の理解、定着に向けての実施								
	人間関係 社会性	・ルールやマナーを知り、意識できるようにする。 ・集団活動の実施。→活動を通して、意思伝達・協力・協調等、社会で必要なスキルを身に付けられるようにする) ※場面の設定ではなく、日常の過ごしや活動の中で発生した課題に対して、どう対処すればよいかを一緒に考えていく。								
家族支援		送迎時、連絡帳などで細かく情報共有を行ったり、定期的に面談を実施し、早い段階で悩みや課題に対応できるようにする。 兄弟姉妹の立場等を一緒に考えながら、本児の課題に向き合う等。						移行支援	小学生のうちから、中学高校、就職に意識を向けて日々過ごせるように、支援や面談を実施する。 進学に向けて必要なADLの自立等を目指して取り組む。	
地域支援・地域連携		近くのスーパー等で買い物経験などを積む機会を設ける。 社会資源を活用した活動内容を設定している。(電車やバスの利用等) ※個別の支援計画には設けていない。						職員の質の向上	定期的に研修を実施し、学びの機会を設けている。 書物を用意し、自由に読めるような環境になっている。	
主な行事等		長期休みや、祝日ごとの外出・イベント実施 季節に合わせたおやつを提供 夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、忘年会、新年会、芸術発表会(作品作り、劇等)								